



あ

や

け

き

No. 17
2022 SEP

摂南大学広報誌

◆ 学長通信

特集
01

自らを輝かせるキャリア形成支援プログラム

◆ 学部を越えた主体的な学び **副専攻課程**

特集
02

人間力を磨く“ガクチカ”

◆ 「実践的能力」を発揮する **学生プロジェクト**



学長
萩田 喜代一

ウィズコロナ時代のキャリア形成支援の強化

—自ら磨く「人間力」と「実践的能力」—

皆さまには、平素より本学の大学運営にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本学の設置法人・常翔学園は今年10月に創立100周年を迎えます。創立以来、学園では建学の精神として「世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践の技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する」を掲げてきました。

本学の使命はこの建学の精神に則る人材育成であり、学生自らがそれぞれの専門的能力を身に付けるとともに、汎用的能力(人間力※1と実践的能力※2)を磨くことを大切にしています。

そのため、社会で活躍できる人材育成のためのキャリア形成支援(キャリア教育を含む)にも力を注ぎました。その成果として、これまで高い就職率を維持しており、「2022年実就職率ランキング」では近畿圏の総合大学(卒業生数1,000人以上)で1位にランクインしています(参照表①)。その強みをさらに発展させ、今年度からウィズコロナ時代において実践的能力を鍛えるキャリア形成支援プログラム(詳細は右ページのclose-up SETSUDAIでご紹介しています)を新たに実施しています。このプログラムに多くの学生が主体的に(自分事として)参加することを強く希望します。

※1)人間力:知的能力(基礎的な知的能力、専門的な知識・スキル、論理的思考力、想像力、創造力など)、社会・対人関係力(コミュニケーションスキル、リーダーシップ、フォロアーシップ、公共心、規範意識、切磋琢磨しながらお互い尊重し、高めあう力など)、自己制御力(主体性、意欲、忍耐力、ストレス対応力、レジリエンス、生き方や成功を追求する力など)(内閣府「人間力戦略研究会報告書」、一部改変)

※2)実践的能力:知識・技能を応用して展開する力、課題発見・解決力、目標を設定して実現に向かう力、自分の考えを実行に移す力、チャレンジ・フロンティア精神など

参照表①

近畿圏の総合大学(卒業生数1,000人以上)
実就職率ランキング

| 順位 | 大学名(所在地) | 実就職率(%) |
|----|------------|---------|
| 1 | 摂南大学(大阪) | 91.1 |
| 2 | 甲南大学(兵庫) | 90.7 |
| 3 | 近畿大学(大阪) | 89.8 |
| 4 | 関西学院大学(兵庫) | 89.6 |
| 5 | 関西大学(大阪) | 87.7 |

出典:大学通信(2022年実就職率ランキング)

実就職率=就職者数÷[卒業者(修了者)数
-大学院進学者数]×100

長年にわたり高い実績を残すキャリア形成支援体制

本学では、キャリア教育と就職サポートにより、独自のキャリア形成支援体制を構築し、教員・職員が学生一人ひとりの夢や目標を支えて社会へのステップアップを支援しています。

キャリア教育



1年次で自分の将来を自らイメージし、学部での学びと段階的なキャリア教育で目標を具体化します。

就職サポート

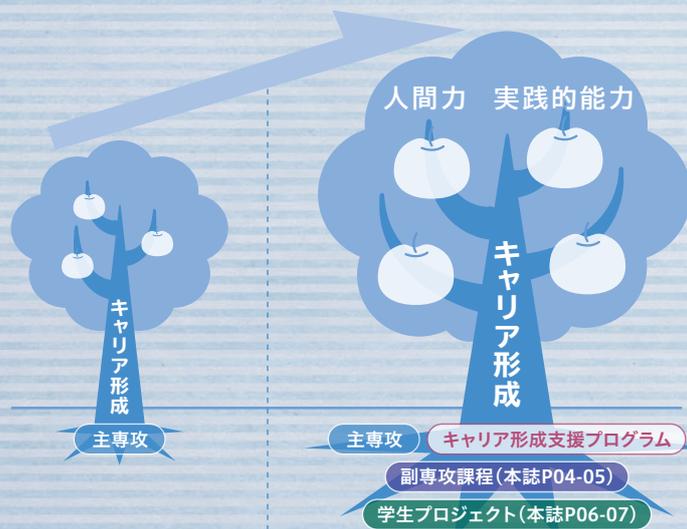


独自のプログラムにより学生の特性をつかみ、企業ニーズに合致できていることが高い就職率と満足度につながっています。

ウィズコロナ時代に対応する 新たなキャリア形成支援プログラム

コロナ禍により就職活動や働き方、ビジネスのあり方は大きく変化しました。その課題や可能性などもふまえ、今年度より3つのキャリア形成支援プログラムをスタートさせています(詳細は右ページのclose-up SETSUDAIでご紹介しています)。これらにより、人間力と実践的能力を高め、個々の目標の達成をサポートします。

さらに本学には、キャリア形成に結び付くさまざまな学びの機会があります。学部を越えたアクティブ・ラーニングにより主体的に学ぶ副専攻課程、学生自らの企画・運営により学びや学生生活の充実、学内環境改善に向けた活動を展開する学生プロジェクトはその代表例です。右記「キャリア形成のイメージ」のように、学生たちは実践的学びにより人間力を磨き、実践的能力を着実に高めています(副専攻課程と学生プロジェクトについては、本誌のP4以降の特集で詳しくご紹介しています)。



キャリア形成のイメージ

Close-up / SETSUDAI

今年度よりスタートした3つのキャリア形成支援プログラムについて、
それぞれの実施概要を、現在の就職活動における動向や社会の要請なども交えて紹介します。

アントレプレナーシップ養成プログラム —新たな価値を創造する人材を目指して—

◆実施概要

1～3年生を対象に、起業家・企業人を講師に迎え、9月から翌年1月にかけて全12回実施します。学生は企業の新規事業立ち上げ、新サービス開発などの立案に協働して取り組むとともに、その仮説証明や普及のための企画立案にも参画します。

◆背景と目的

アントレプレナーシップとは、新たな事業を起こし、そのリスクや課題解決に挑戦する精神・姿勢と言われています。近年、国内企業においても、イノベーションをもたらす新たな価値を創出するための思考・行動要素として、アントレプレナーシップが大きく注目されています。このプログラムでは、こうしたアントレプレナーシップを実践を通して培っていきます。

キャリア・オーナーズプログラム(早期就活力養成講座)

◆実施概要

より早期に就職活動に備えたい2年生を対象に、約1年間にわたり、全15回の実践講座を実施し、手厚い支援を行います。

- ① 業界研究
- ② 自己分析や自己PRのポイント
- ③ 学生同士の面接ロールプレイング
- ④ 業界実践研究(夏休み)
- ⑤ 他大学の学生との課題解決系グループワークなど

◆背景と目的

早期予定の重要なキーポイントとなっている3年次のインターンシップに向けて、その応募対象者を増やすとともに、希望する企業での充実したインターンシップ経験につなげることを目的としています。



これから1年間共に学ぶ仲間に自己紹介

インターンシップ・チャレンジプログラム

◆実施概要

3年生と大学院1年生を対象に、5月から6月にかけて5回、インターンシップへの導入プログラムを実施しました。

- ① 大手企業研究やインターンシップの内容調査
- ② 人事が会いたくなるエントリーシートの書き方
- ③ 自己PRのブラッシュアップ
- ④ SPI理解講座
- ⑤ 面接で押さえておきたい基本マナー

◆背景と目的

(株)リクルートの就職みらい研究所の調査では、インターンシップ実施企業の約3割が「採用に直結した」と回答※1、参加学生の約8割が「採用選考と関係があった」と回答※2。就職活動をするうえで有意義な成長の機会ともなるインターンシップですが、人気のある企業や職種では応募の競争率も非常に高く、採用面接同様のエントリーシートや面接などの選考が行われる場合も多くあります。このプログラムでは、選考突破のノウハウを身に付けます。

※1 出典:リクルート就職みらい研究所「就職活動・採用活動に関する振り返り調査データ集」インターンシップの実施目的

※2 出典:リクルート就職みらい研究所「就職白書2022」インターンシップと採用選考の関係



熱心にワークに取り組む多くの学生

INDEX

学長通信 02

～ウィズコロナ時代のキャリア形成支援の強化～

特集

学部を越えた主体的な学び 副専攻課程 04

「実践的能力」を発揮する 学生プロジェクト 06

SETSUDAI NEWS 08

経済支援のご案内 09

就活・進路 内定状況 10

後援会 11

本学では、新型コロナウイルス感染症への対応として、全学生・教職員への感染リスクを最小限にするべく、最新情報の入手と注意喚起に努めております。今後予定している各行事などにつきまして、状況に注視しつつ、その動向・変化に応じて変更となる可能性があります。新しい情報は本学ホームページにて随時お知らせします。本誌に掲載の写真は、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、撮影時のみマスクを外して撮影しています。

学部を越えた主体的な学び 副専攻課程

地域

ソーシャル・イノベーション副専攻課程

多角的な視点を持ち、
持続可能なまちづくりに貢献できる**社会のリーダーを育成**

■ アクティブ・ラーニングで8つのCanと3つの力を修得

「地域経済・経営」「地域環境・防災」「地域政策・文化」「地域医療」を中心に、北河内地域や和歌山県由良町の過疎地域などを舞台に多角的な視点で地域の状況を分析した上で課題を発見し、持続可能なまちづくりに貢献できる人材の育成を目指します。アクティブ・ラーニングにより社会で求められる能力(8つのCan: ①前向きで主体的な行動 ②リーダーシップ ③質の高いコミュニケーション ④質の高いプレゼンテーション ⑤チームでの協働 ⑥自分の強み(長所)の発見・展開 ⑦意見や立場の違いの理解 ⑧新しいアイデアの創出)を修得することで、社会のリーダーに必要な下記の3つの力を育てていきます。



■ 地域を舞台に、課題解決に向けアクティブに学ぶ

●「地域と私」(1年次 必修科目)

「地域」に焦点を当てて学ぶ意義を理解し、地域に存在する課題について学びながらグループで調査を行い、発見した課題と解決策を考え発表します。

●「摂南大学PBLプロジェクトI」(2年次 必修科目)

PBL(Project Based Learning)=プロジェクト体験型学修を通して、人間力と実践的能力を涵養する科目です。プロジェクトの目標を達成するため、学生が自ら課題を発見し、プロジェクトメンバーと協働して課題の解決に取り組む創造的・社会的学びです。

講義で学んだ理論を演習・実習などで試し、実務経験をもとに、また理論を学び直す「アクティブ・ラーニング」で学生が現場でのさまざまな経験を通して主体的に理解を深め、成長していく学修スタイルを展開しています。今年度までに実施したプロジェクト数は約140を超えています。



さまざまな現場で経験を重ねる学生たち

地域の課題解決に深く関与した経験は、充実したキャリア形成につながっていきます。

本学では「文」と「理」をもつ総合大学としての利点を生かした教育、研究、産官学・地域連携などにより、探求心ある自律した人材の育成を通して、地球規模の問題・課題の解決に挑戦しています。「地域で学んだ知を世界に展開する」「世界で学んだ知を地域に還元する」ために、まずは学生の皆さんが自分中心の生活の場から地域や海外へと視野を広げ、社会課題を見つけて自ら解決する能力を身に付けることが第一歩となります。この副専攻では、その過程で多様な学びを体験し、受け身の「学習者」ではなく、課題解決に向けた主体的な「学修者」として能力と自信を身に付けることを目的としています。いずれの副専攻でも、修了要件を満たした学生には卒業時に修了証を発行します。主専攻での学びに加えて、課題解決に向けた主体的な学びを進めてきた証になり、就職活動などでも大学生活での取り組みをアピールする上で大いに役立つでしょう。さらに、副専攻での経験や学びは社会のさまざまな場面で活かすことができ、履修学生においては自身の卒業後の進路を考える上で重要な指針ともなっています。

教育イノベーションセンター長 石井 三恵 教授



複雑化した現代社会では、問題に多面的にアプローチし、他者と協働して課題解決する力が求められています。本学の副専攻課程では、地域や海外へ視野を広げ、学部・学科を越えて知識・技能・態度を学修することで、現代社会に強く求められる人材を目指します。

副専攻課程のガイドブックはこちらからご覧いただけます



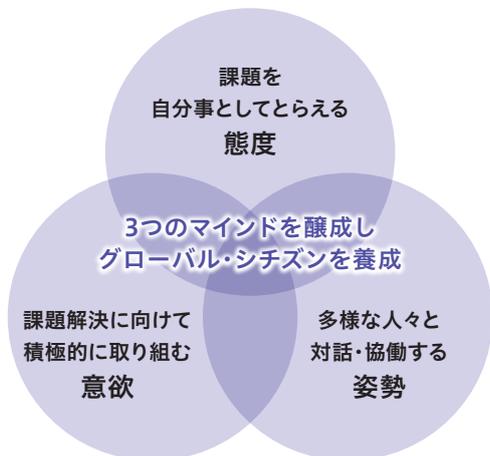
地球

グローバル・シチズンシップ副専攻課程

国内外の社会課題を自分事としてとらえ、
解決に向け行動できる**グローバル・シチズン(地球市民)**を育む

【グローバル・シチズンとしての価値観とマインドを醸成

「国内外の多様な社会と人々に敬意と思いやりを持ち、地域の課題と地球規模の課題に等しく当事者として向き合い、課題解決に向けて積極的に行動できるグローバル・シチズン(地球市民)」の養成を目指します。「共通科目」「理論科目」「実習・演習科目」の3つの科目群でアクティブラーニングを導入し、グローバル・シチズンとしての6つの価値観(①多元的なアイデンティティ ②多様性の尊重 ③平和、安全、非暴力 ④貧困、不平等、不公正の是正 ⑤環境の保全 ⑥多様なパートナーシップ)を身に付けていきます。これらをベースに、グローバル・シチズンとしての3つのマインドを醸成していきます。



【地域と地球規模の課題解決に向き合いアクティブに学ぶ

●「グローバル・シチズンシップ論(入門)・(応用)」(1年次 必修科目)
グローバル・シチズンの定義から、SDGs、人権、宗教、貧困、環境、教育などのトピックまで理論と実践を交えて学びます。遠い世界の話ではなく自分事としてとらえられるよう、身近な例を取り上げるなどの工夫をしています。

●「Topics in Global Citizenship (EMI)」(2年次 必修科目)
これまでに学んだトピックを英語で学び、ディスカッションも英語で行います。英語が得意でなくても、すでに学んだ内容のため取り組みやすく、徐々に英語でのコミュニケーション形成スキルを高めていくことができます。

●「グローバル・シチズンシップ海外実習(応用)」(3年次 必修科目)
本副専攻の総仕上げ科目として、これまでに培った知識や経験を生かし海外の社会課題に貢献することで成長につなげていきます。コロナ禍で海外渡航ができない間は、国内実習先で活動を行っています。



グローバル・シチズンシップ論(入門)



学外の企業や団体と協力し学ぶPBL

学生たちによる自分を「大きく変える」チャレンジが、成果として現れています。

私たちは貧困、気候変動、格差、環境、紛争など多様な地球規模の課題に直面しています。SDGsの「17の持続可能な開発目標」の達成には、これらを「自分事」としてとらえ、解決のための行動につなげていく態度、意欲、価値観が必要です。そうした資質を持つ「グローバル・シチズン(地球市民)」が本副専攻の目指す人物像です。さらに、主専攻の学問領域だけでは対処できない課題も多く、学部・学科を越えた学びによって多面的にアプローチする力も培ってきます。コロナ禍やロシアのウクライナへの武力侵攻など、グローバル化には逆風もあります。でもだからこそ、グローバル・シチズンの意識をもって世界平和につなげていくことが重要です。若い間に視野を広げ、体験の中で「一つにつながった世界」を体得していく。その重要性は高まっており、自身の進路選択の幅を広げ、人生をより豊かなものにもしてくれるでしょう。主体的・実践的な副専攻の学びは負荷も大きくなかなか大変です。しかし、「大変」とは「大きく変える」と書きます。学生たちによる自分を「大きく変える」チャレンジは目に見えて成長へとつながっています。

グローバル教育センター長 中西 正樹 教授



「実践的能力」を発揮する 学生プロジェクト

学生プロジェクトは、学生が仲間や教職員などと協働し、主体的に計画・実行している活動です。原動力は、他者のサポートや環境改善などで大学を盛り上げながら、自らも成長をつかもうとする熱意。時に、仲間との意見の対立なども経験しながら、対話を重ねチームとして成果を生み出していく。その実践的能力は、「人間力を磨いたガクチカ(学生時代に力を入れたこと)の成果」として、自身の価値を高める重要な要素となっています。

LST ラーニング・サポート・チーム

新入生のサポート



チームとして対話し協働する力
チーム力を磨き、摂大での学びを充実させ成長したい!

学生スタッフとして教職員と協働し、本学の教育活動、特に新入生が学修を進める上での重要なサポート役を担っています。新入生がグループワークを通してチームビルディングを学ぶ「学修キックオフ・セミナー」ではメンバー間で熱心に研修を重ね、ファシリテーション方法を模索。入学前教育ワークショップ、学科別交流会、摂大祭出店などでも「全員がリーダー」の意識で取り組んでおり、定例会では活発に意見が飛び交います。学部・学科・学年の垣根を越えて、互いの意見・価値観を尊重し対話する中で、リーダーシップとフォローシップを学んでいます。

- 発足: 2018年
 - 所属人数: 147人(2022年9月現在)
 - 所属部門: 教務部教育イノベーションセンター
- ⇒「学修キックオフ・セミナー」の活動は「さやけき15号」特集でも紹介しています。
https://www.setsunan.ac.jp/why_setsudai/support-newstudents/



SGP SETSUNAN GIRLS PRESS

女子学生による広報プロジェクト



共感ベースのコミュニケーション力
女子目線で高校生に摂大の魅力をどんどん発信中!

「女子高校生に本学の魅力を発信し、女子学生を増やそう!」と活動をスタート。これまでリーフレットや動画、オープンキャンパスのグッズ制作や学食メニュー考案などを、企業などとも連携しながら行い、女子学生比率向上に貢献しています。現在も、「魅力的な企画で多くの人と交流したい!」とインスタグラム投稿、オープンキャンパスのイベント企画・運営などに積極的に取り組んでいます。オープンキャンパスでは、女子ならではの視点を活かして親身に受験生の相談に応えるなど、企画力やコミュニケーション力を大いに発揮して活躍しています。

- 発足: 2014年
- 所属人数: 16人(2022年9月現在)
- 所属部門: 入試部



C.C.S キャンパス・クリーン・サポーター

SDGsの取り組み



社会課題に向き合い周囲に働きかける力
環境改善に貢献、摂大名物となった取り組みも多数!

省資源、省エネルギー、廃棄物削減、リサイクルなどによる学内の環境改善およびSDGsの実現に向けて活動しています。これまでの主な活動としては、緑のカーテンづくり、ペットボトルツリーの制作・展示、廃油による石鹸づくり、不要な布回収およびエコバッグ作成など、多彩な取り組みを展開。学内の環境への意識向上にも貢献しています。いずれもメンバーが学部・学科・学年の枠を越えてチームワークを発揮し、企画立案から運営・実施を担っています。

- 発足: 2014年
- 所属人数: 9人(2022年9月現在)
- 所属部門: 学生部



学生アドミッション・スタッフ

オープンキャンパススタッフ



大規模なイベントと組織を運営する力
オープンキャンパスを盛り上げるアイデアならお任せ!

オープンキャンパスの運営団体として、学生目線で摂大の魅力を伝える活動を行っています。イベント・プレゼン・展示・企画・広報の5班で、キャンパスツアーやパネル展示など多彩な企画を展開。来場者に「等身大」の摂大生を感じ取ってもらうとともに、入学後の学修意欲を高めるきっかけとなっています。規模の大きな団体でもあり、定例の班会議や全体会議に加えて、新入生歓迎行事や合宿を実施し円滑な組織運営にも力を入れています。これらの活動を通して、コミュニケーション力や企画提案・実行力などの社会人基礎力が着実に培われています。

- 発足: 2006年
- 所属人数: 443人(2022年9月現在)
- 所属部門: 入試部



図書館学生サポーター

本への愛



企画・プレゼンテーション力

読書の魅力で人の輪を広げていきたい!

本に親しむとともに、読書の楽しみを広げ、図書館の利用促進を図る活動を行っています。例年、知的書評合戦「全国大学ビブリオバトル」の予選会を本学図書館で行っており、メンバーが計画から運営までを担当。メンバー自身も出場し、2015年度から3年連続全国大会出場、2017年度は首都決戦出場の実績があり、プレゼンテーション力を養っています。その他、好きな本を紹介する集い「マイフェイバリットボックス」の開催、タイトルが分からないよう袋に入れた本から選んで読んでもらう「本おみくじ」の実施、図書館報寄稿や図書の推薦、しおり作成、摂大文化大賞への出品などを行ってきました。

学部・学年の垣根を越え、本が好きな仲間と協働しながらイベントを企画・運営するなど、アカデミックでクリエイティブな取り組みを展開しています。(2020年・2021年はコロナ禍のため中止、2022年は10月に開催予定)

- 発足:2014年
- 所属人数:20人(2022年9月現在)
- 所属部門:図書館

人前で話すのは得意ではなかったのですが、「全国大学ビブリオバトル2019」の地区決戦に進んだ際に聴衆の興味を引き出す話し方を学び、授業でも堂々とプレゼンテーションができるようになりました。4年生になった現在は、コロナ禍であり大学に来られなかった2、3年生を中心にもっと図書館を活用してもらえるよう例年より多くの企画を準備中です。詳細は本学Webサイトでも案内しますので、ぜひご参加ください。



全国大学ビブリオバトル予選会開催



理工学部 建築学科 4年
森藤 優さん

GSS グローバル学生スタッフ

学内で国際交流



グローバル・シチズンシップ

学内を拠点に世界を学び、交流が広がる!

留学生と国内学生が協働して、大学内やメンバー自身のグローバル化や多文化共生を推進しています。昨年度は、韓国やマレーシアなど特定の国の学生との交流会を含めた計3回の留学生オンライン交流会、英語学習セミナー、クリスマス交流会、持続可能な旅行企画立案コンテストを実施。今年度は交流イベントのほか、研修や啓発活動など各自のスキルアップにつながる活動も行う予定です。

普段から国際交流や留学生とのコミュニケーションに意欲的なメンバーが多く、活動の企画・立案にあたっては豊富なアイデアを持ち寄り、特に興味を引くものや有用なものを検討し実施しています。その過程では、「自身だけでなく、多様な文化や価値観、語学能力を持つ他の参加者ら全員が楽しめるか」を議論し、意見のすり合わせに苦心しながらも、イベント開催までこぎつけています。こうした経験により、全体を俯瞰するグローバルな視点を身に付けるとともに、語学力向上のノウハウについても獲得することができています。

- 発足:2020年
- 所属人数:17人(2022年9月現在)
- 所属部門:グローバル教育センター



GSS主宰で留学生を対象としたオンライン交流会を定期開催

色々な考え方があるからこそ勉強になる! 会議ではみんなが納得するまで意見を聞いて検討します。

GSSで高めることができたコミュニケーション力を就職活動でも発揮したいです!

たくさんの人との出会いの中で、私の考えや知識もどんどん広がっています!



経営学部 経営学科 2年
チャントウ ハさん

★ ベトナム出身



理工学部 建築学科 3年
ニオ キャロライン
シンディーさん

🇮🇩 インドネシア出身



経営学部 経営学科 3年
グエン ティー
デュー アンさん

★ ベトナム出身



理工学部 機械工学科 2年
北川 凌太郎さん

1年次からグローバル・シチズンシップ副専攻課程を履修していて、世界から日々届くニュースや背景にある問題などを自分たちに関わりのある事柄として受け止めるようになりました。「もっとさまざまな人とつながって自分の世界を広げたい」と考えるようになり、GSSに参加しました。

GSSの魅力は、国際交流に興味を持つ本学の学生と留学生が共に活動し、海外の大学の学生とも関わる機会が頻繁にあるため、多様な意見や考え方、興味の方向性などを知り、自分の固定観念に気づいて考え方が変わる点にあります。交流会も、海外の学生が楽しめる内容を企画する上で、メンバーの留学生の意見がとても参考になります。また、国際交流というと国際問題についての知識や語学力などに自信が持てず構えがちでしたが、担当の先生から「自分を開くこと、ありのままの素直な行動が大切」とアドバイスいただき、自分たちでできる素直な交流を心がけています。その結果、楽しくコミュニケーションができ、友だちもたくさん増えました。こうした交流の数々がGSSの最大の魅力ですね。

課外活動

スポーツクライミング部  Awards

日本代表に選ばれ国際大会に出場

FISU世界大学スポーツクライミング選手権大会で7位入賞

6月13日～17日、オーストリア・インスブルッククライミングセンターで行われた「2022 FISU世界大学スポーツクライミング選手権大会」に、体育会スポーツクライミング部・抜井亮瑛さん(国際学科1年)が、日本代表5人の内の1人に選ばれ出場。男子リード種目で7位に入賞しました。

スポーツクライミングは、登った高さを競う「リード」、複数のコースを



世界大学選手権でリード競技に臨む抜井さん

いくつ登れたかを競う「ボルダリング」、頂点まで登る速さを競う「スピード」の3種からなる競技です。

抜井さんは8歳からボルダリングを始め、その才能をすぐに開花させます。小学3年生で「THE NORTH FACE CUP 2013」の地方予選を勝ち抜き、本選の準決勝まで進出、6年生で同大会2016の本選決勝で3位に。その後も、中学2年生で「IFSC クライミング・アジアユース選手権 シンガポール2017」のユースB男子ボルダリングで優勝し、翌年「アジアユース選手権2018」のユースB男子スピードでは日本人初の優勝を果たすなど国内トップクラスの実績を残してきました。

今回、リード競技での出場決定から本番までの期間が短く、準備が十分ではなかったと振り返る抜井さん。長距離を登るリードは持久力がカギとなります。「決して喜べる結果

ではありませんが、ボルダリングで培ってきた力を生かせることは収穫です。今後はリード競技で結果を出せるよう持久力の向上と精神面の強化を図ります」と話します。来年の

ワールドカップ出場を目指し、ジャパンカップで男子リード10位以内を目標に練習に励む抜井さん。世界レベルの活躍に注目が集まります。

注目
Attention

本学初の「スポーツクライミング」
スポーツクライミング部発足

4月1日、本学体育会「スポーツクライミング部」を発足しました。ヘッドコーチに日本山岳・スポーツクライミング協会所属の中貝次郎氏を迎え、関西圏におけるスポーツクライミング強化・普及の拠点を目指します。

今後は、本学と同法人の設置学校・常翔啓光学園高校との連携も想定しています。常翔啓光学園高校には2017年に設置されたリード・ボルダリング・スピードの3つの人工壁が一つになった全国初の本格的なクライミングウォールがあります。大規模な大会会場としても利用されています。こうした充実した練習環境の活用により、世界に通用する選手の育成に取り組んでいきます。



理工学部

建築学科

日頃の学修の成果を生かした実践プロジェクト

学生らが一軒家をシェアハウスにフルリノベーション

2019年に開始した、加嶋章博教授の研究室によるシェアハウスのリノベーションプロジェクトが4月に竣工を迎えました。これは、学生らが日頃の成果を生かし、寝屋川キャンパス近くの木造2階建て古家(1971年竣工)の改修に取り組んだものです。kt一級建築士事務所(芦屋市)、西村設計(寝屋川市)の建築家と協働し、プランニングからプレゼンテーション、建物と家具の設計・制作・素材選定など一連のプロセスに携わりました。基礎、はりや柱、階段や収納など使える部分は残しながら解体・耐震改修。構造合板を生かした壁が木目の温かみとモダンさを醸し出しています。

このシェアハウスは学生向けで定員4人、1階は広いダイニングキッチンや玄関土間リビングの共用スペース、2階はロフト付きの個室4室になっています。学生らが薦めるのは玄関土間リビング。座ってくつろげて、ルームメイトや立ち寄った人とも語り合える万能スペースです。

学生にとって、実体験を通して専門性を磨くとともに住宅の設計施工に携わる喜びを実感できる貴重な学びの機会となりました。



モダンな印象に生まれ変わったシェアハウス



開放的な玄関土間リビング



■ リノベーションプロジェクト



■ 加嶋教授研究室HP

課外活動

陸上競技部  Awards

事故による失意の底から復活し躍進

愛知パラ陸上競技フェスティバルで大会新記録・優勝

7月10日、愛知県・いちい信金スポーツセンターで行われた「2022 愛知パラ陸上競技フェスティバル」男子100mT63の部で、体育会陸上競技部・近藤元さん(法律学科3年)が、13.96秒の大会新記録で、見事優勝を果たしました。

近藤さんは、2020年12月にバイク事故で右脚を膝上から失いました。意識不明の状態が約3週間続き、医師から「一命を取り留めたのは奇跡」と言われるほどの大怪我でした。意識回復後、持ち前の前向きな性格からパラアスリートを目指しますが、当たり前でできていたことができない現実に次々と直面し、絶望に襲われます。

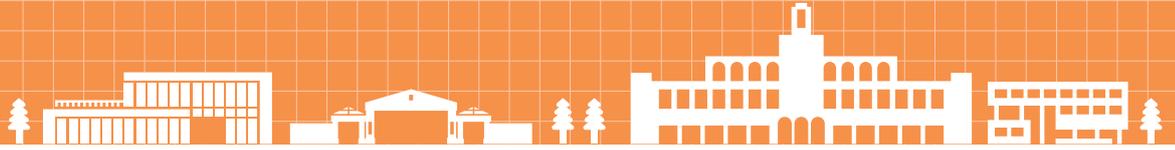
そんな近藤さんの力となったのが、陸上競技部顧問の紹介で出会った、リオパラリンピック走り幅跳び銀メダリストの山本篤選手でした。境遇の似た山本選手の言葉に励まされるとともに、「東京2020パラリンピック」で39歳にして自己ベストを更新する活躍ぶりに、「たくさんの勇気を

もらいました」と話します。

昨年10月下旬、10カ月に及ぶ入院生活を終え、ようやく練習に復帰。復帰して初めて挑んだ大会の記録は100m15.65秒でしたが、猛特訓を重ね、7カ月後は14.49秒をマーク、約9カ月後の今大会では14秒を切って13.96秒で優勝を遂げるなど、めきめきと実力を伸ばしています。山本選手が所属する新日本住設(株)から体と義足をつなぐ「ソケット」を寄贈されるなど、パラアスリートとして大いに期待を集めています。

山本選手とは今では頻りに連絡を取り合う中で、近藤さんのエネルギー溢れる性格がさまざまな縁を引き寄せています。「世界陸上でメダルを獲得!」の大きな目標に向け、日々熱心な練習が続いています。





Information

農学部

農学部発の商品およびサービスが、枚方市のふるさと納税返礼品として好評受付中です

枚方市産すもも使用 「すももちゃんサイダー」250ml×6本

農学部と枚方市のコラボ商品「すももちゃんサイダー」が枚方市のふるさと納税返礼品として提供されています。農学部と枚方市は昨年3月に農業振興・食などについて、地域の課題解決や活性化を目的とした連携協定を締結。「すももちゃんサイダー」はその一環として市の特産品すももの6次産業化を目指し開発したもので、同市内の山口農園と連携のうえ、農学部4学科の学生らが参加し、収穫から試作、商品化までを行いました。枚方市の新たな特産品として、香料や着色料を一切使用しない爽やかな味わいが好評を得ています。⇒すももサイダー開発プロジェクトは「さやけき16号」特集でも紹介しています。



■ふるさと納税サイト「さとふる」

https://www.satofull.jp/products/detail.php?product_id=1281289



■ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」

<https://www.furusato-tax.jp/product/detail/27210/5349519>

腸内フローラ検査サービス 「Flora Scan(フローラスキャン)」

井上亮教授(応用生物科学科)が考案したノウハウで腸内細菌叢測定を行う、腸内フローラ検査サービス「Flora Scan(フローラスキャン)」が枚方市のふるさと納税返礼品に採用され、申し込み受付中です。本学初の大学発ベンチャー企業である(株)フローラディスカバリーと、予防医療領域の検査サービスを展開する(株)プリメディカが提供するもので、日本人に特化したデータベースの使用により、生活習慣病や疾患との関連性まで検査可能です。腸内フローラ検査サービスのふるさと納税返礼品採用は、全国初となります。⇒Flora Scanの社会実装については「さやけき16号」特集でも紹介しています。
https://www.setsunan.ac.jp/why_setsudai/gakubu/nogaku/



■ふるさと納税サイト「さとふる」

https://www.satofull.jp/products/detail.php?product_id=1302436



■ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」

<https://www.furusato-tax.jp/product/detail/27210/5442549>

入試情報

入試情報特設サイトに、学部および大学院の入試についての各種情報、入試結果、入試に関するイベントなどのお知らせを掲載しています。大学案内や入学試験要項などの資料請求の受付も行っています。



農学部/先端アグリ研究所

最新の研究成果を
身近なテーマで解説
摂大農学セミナーを
開催中

「摂大農学セミナー」を毎月オンライン・ライブ配信で開催しています。詳細は随時学部サイトに掲載。どなたでも参加可能です。



経済支援のご案内

家計が急変し、学費の支払いに困った場合は…

奨学金・教育ローン・学費減免の案内



不慮の事故や災害などにより家計が急変し、学業継続に支障が生じた場合の経済支援策をご案内します。

| 区分 | 名称 | 返済の要・不要 |
|----------|---|----------|
| 奨学金 | ① 日本学生支援機構貸与奨学金 (JASSO) の緊急/応急採用 | 必要 |
| | ② 貸与金額の増額 (すでにJASSO奨学生の場合) | |
| | ③ 地方公共団体・民間奨学団体の奨学金 | 団体により異なる |
| 教育ローン | ① 国の教育ローン 日本政策金融公庫 | 必要 |
| | ② 本学との提携ローン 学費サポートプラン (オリエントコーポレーション) 悠裕プラン (ジャックス) | |
| 学費減免 | 大学独自の学費減免制度 (※給付制の学内奨学金を受給している者など、適用対象外となる場合があります) | 不要 |
| 一時金 | JASSO災害支援金 (自然災害等により住居に被害を受けた場合) | 不要 |
| 奨学金・学費減免 | 高等教育の修学支援制度 (日本学生支援機構給付奨学金・国の授業料等減免)【家計急変】 | 不要 |

◎ 申請にあたっては、申請書をはじめ収入に関する書類などが必要です。

募集案内や説明会など、奨学金に関することはポータルサイトでお知らせします。随時情報発信しますので、見落としのないよう留意してください。

本学ホームページと各学部オリジナルサイトでは、学生の活動をはじめ大学の取り組み、教育研究での成果などを日々更新中。QRコードからご覧いただけます。



本学の最新情報は、
こちらから
ご覧いただけます



摂南大学公式
facebookも
併せてご覧ください



就活・進路 内定状況



－ 混乱が落ち着く一方、 二極化も －

ここ2年コロナ禍により混乱した就活は、企業の採用意欲も回復傾向にあり、採用予定人数を増加させる企業も増えるなど落ち着きを取り戻しつつあります。採用活動もWebと対面を併用した説明会、セミナー、面接が活発に行われ、5月頃から内定を獲得する学生が増えてきました。一方、依然企業の厳選採用が続いており、内定獲得に苦戦する学生も多い状況にあります。この結果、9月1日現在、本学の就職内定率は75.6%（文系68.4%、理系84.2%）と前年度から4.6ポイント増となりました。また、約30人は学内外の大学院に進学予定となっています。

就職支援の取り組みについて － 専用就活システム「セツナビ」－

就職部と枚方事務室就職係では、対面とWebツールを併用して、進路に関するさまざまな情報の提供をはじめ、学生の皆さん一人ひとりの就活をサポートしています。本学独自の就活システム「セツナビ（求人検索NAVI）」では、本学学生を採用したい企業から大学に届いた求人を、スマートフォンやパソコンから24時間いつでも閲覧可能です。この他、このシステムでは、卒業生の進路先や内定情報、実際に受けた筆記試験や面接選考などの就活体験記を閲覧することが可能です。情報は随時更新されていますので、大手就活ナビサイトより有益な求人情報を手に入れて応募できます。

個別の支援について

- 進路相談（就活相談専用メールまたはWebツールで対応）
「何から始めたらいいかわからない」、「自分に何が向いているのか分からない」など、進路に関するどんなことでも相談に応じます。
- 応募書類の添削（就活相談専用メールでも対応）
 - ・志望動機、自己PR、学生時代に力を入れたことなど
 - ・企業独自のエントリーシートにも対応
- 面接練習（模擬面接）（Webツールを利用してオンラインでも実施）
 - ・過去の実績をもとに、応募先に合わせた内容で実施
 - ・キャリアアドバイザーと1:1の個別練習

未内定学生への支援～個別面談でサポート強化～

就職部と枚方事務室就職係では、さまざまな事情から現在も進路未内定になっている学生に対しても、個別面談を中心に相談に応じています。積極的に活用するようにご家庭でも後押しをお願いいたします。

2022年度【後期】行事スケジュール(予定)

※最新情報は本学ホームページをご確認ください。

今年度後期にも、各学年を対象とした行事を数多く開催します。進路選択にあたって非常に重要な情報をお伝えしていますので、ぜひ積極的に参加してください。

| 〈寝屋川キャンパス〉 | | | 〈枚方キャンパス〉 | | |
|------------|---------|---|-----------------|---------|---|
| 1～3年生対象 | 12月 | ・業界・企業研究セミナー | 1年生対象 | 2023年3月 | ・【看】就職ガイダンス① |
| 2年生対象 | 12月 | ・2年生向けガイダンス | | 10月 | ・【農】就職ガイダンス① |
| 3年生対象 | 10月～12月 | ・履歴書作成個人面談 | | 10月～11月 | ・【農】就職模擬試験 |
| | 10月 | ・就職模擬テスト（一般常識） ・外国人留学生向け就職ガイダンス② | 2年生対象 (薬4年生) | 12月 | ・【農】就職ガイダンス② |
| | 11月 | ・就職ガイダンス③ ・インターンシップ活用ガイダンス ・テストセンター模擬テスト（SMART SPI） | | 2023年1月 | ・【農】適性診断 |
| | 12月 | ・自己分析講座 ・外国人留学生向け就職ガイダンス③ | | 2023年2月 | ・【薬4年】就職ガイダンス① |
| | 2023年2月 | ・学内合同企業説明会① ・集団模擬面接 ・マナー講座 ・外国人留学生向け就職ガイダンス④ | | 2023年3月 | ・【看】就職ガイダンス② |
| 4年生対象 | 随時開催 | ・学内企業個別説明会 ・ハローワーク学内出張相談 ・未就職者対象 卒業時ガイダンス | 3年生対象 (薬5年生) | ～10月 | ・【農】履歴書面談 |
| | 2023年3月 | | | 10月 | ・【農】就職ガイダンス⑦ |
| | | | | 11月 | ・【薬5年】就職ガイダンス③、学内業界セミナー ・【農】就職ガイダンス③ |
| | | | | 11月～12月 | ・【薬5年】進路面談 ・【農】学内業界セミナー |
| | | | | 2023年2月 | ・【薬5年】学内業界セミナー ・【農】集団模擬面接、学内合同企業説明会① |
| | | | | 2023年3月 | ・【看】就職ガイダンス④、連携病院座談会、面接練習 |

進路決定について（卒業後の進路が決定した際）

〈寝屋川キャンパス〉

Forms (Webアンケートフォーム) での報告をお願いしています。内定を獲得された場合も同様に、右記のQRコードから報告するようお願いいたします。



■ 内定（内々定）を得た場合

<https://forms.office.com/r/GkBV4YW9C4>



■ 就職、進学等卒業後の進路が決定した場合

<https://forms.office.com/r/Ew1QH8TGqm>

〈枚方キャンパス〉

「進路（就職・進学等）決定届」の提出をお願いします。

後援会 会長 挨拶

後援会会員および関係者の皆さまには、日頃から後援会活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。このたび2022年度の後援会総会において後援会会長として選任され、皆さまと共に学生および大学への支援のお手伝いをさせていただくことになりました。1年間よろしくお願いいたします。

後援会では2022年度において、「大学と家庭との連絡提携」「教育懇談会の実施」「教育に対する援助」「学生の課外活動に対する援助」「就職活動に対する援助」「リスクマネジメントに係る援助」の6つの主たる事業に取り組んでいます。特に重点を置いている教育

懇談会は、保証人等の皆さまが学生の大学での様子を担当指導教員から直接聞くことのできる貴重な機会となっています。ぜひご出席いただき、日々の不安の解消および参加者同士の情報交換の場としてご活用ください。新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの制約を受ける中ではございますが、役員と大学が連携し、「すべての学生のため」の後援会活動を推進してまいりたいと考えております。

保証人等の皆さまには、今後とも後援会活動の趣旨をご理解いただき、各種行事への積極的なご参加をお願い申し上げます。



後援会 会長
田中 まゆみ

2022年度 事業計画

1. **大学と家庭との連絡提携**
キャンパスガイド・大学広報誌「さやけき」の送付 ほか
2. **教育懇談会の実施(春期・秋期)**
寝屋川・枚方両キャンパスと学外会場(秋期のみ)にて実施
3. **教育に対する援助**
研究発表・ゼミ旅行・資格試験への援助 ほか
4. **学生の課外活動に対する援助**
課外活動・大学祭への援助 ほか
5. **就職活動に対する援助**
保証人向け就職支援冊子作成・送付に係る援助 ほか
6. **リスクマネジメントに係る援助**
新型コロナウイルス感染症拡大防止策に係る援助 ほか

後援会総会を 資料掲載形式で実施しました

例年5月下旬に開催している「後援会総会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も大学における会合形式での実施は中止となりました。総会で審議予定であった議題については、資料を本学ホームページに掲載し、ご意見をいただく形での開催としました。

議事は2021年度決算報告、2022年度事業計画および予算案などについて、異議なく原案どおり承認されました。2022年度の三役が下記の通り選出された他、新たに12人の役員候補者が承認され、計50人の新運営体制が整いました。

【2022年度 三役】
(※敬称略 50音順)

会 長 田中 まゆみ(薬学部)

副会長 入江 朋美(理工学部)

栗田 聡子(法学部)

柴田 仁美(農学部)

多田 静香(看護学部)

和田 智美(薬学部)

監 事 中嶋 美樹(理工学部)

廣部 奈津(理工学部)

秋期教育懇談会のご案内

10月・11月に本学(寝屋川・枚方)会場と学外5会場で開催します。今抱えている問題や質問がございましたら、ぜひご参加ください。詳細については、8月に送付の案内状または本学ホームページをご確認ください。

本学ホームページ 後援会サイト

<https://www.setsunan.ac.jp/family/kouenkai/education.html>



オンラインを活用したビデオ通話での個別懇談(学外会場)

【2022年度 開催スケジュール】

| 本学会場 | | | | 学外会場 | | | |
|-------------|-----------|---------|----------|---------|----------|----------|-------|
| 11/5(土) | 11/12(土) | 11/5(土) | 11/12(土) | 10/8(土) | 11/19(土) | 11/26(土) | |
| 国際・外国語・理工学部 | 法・経済・経営学部 | 薬・看護学部 | 農学部 | 全学部 | 全学部 | 全学部 | |
| 寝屋川キャンパス | | 枚方キャンパス | | 米子 | 神戸 | 広島 | 高松 京都 |

【教育懇談会 実施内容について】

本学会場

- 個別懇談
成績および生活状況などについて、主指導担当教員と個別に懇談を行います。
- 就職相談
就職部・枚方事務室就職係の職員が就職・進路について個別に相談を受け付けます。

学外会場

- 個別懇談
成績および生活状況などについて、主指導担当教員と個別に懇談を行います。
- ※学外会場では、会場と本学をオンラインでつなぎ、ビデオ通話で本学教員と懇談いただけます。

告知

大学祭

今年は、両キャンパスとも対面で実施予定です。

3年ぶりに学外者の来場も可能となり、

模擬店出店や、著名な芸能人を招いた企画も準備中!

ぜひ、お越しください。

摂大祭(寝屋川キャンパス)

10/28(金)・29(土)・30(日)

摂友祭(枚方キャンパス)

10/29(土)

※新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで開催予定です。 ※状況により、中止する場合があります。 ※詳細については、本学ホームページにて最新情報をご確認ください。

学園創立 100周年記念募金

本学園ならびに本学の取り組み
にご支援をお願いします。

今年、常翔学園は創立100周年を迎えます。
これを記念し、本学の教育および研究の振興・充実を図るため、
下記の記念事業を計画しています。
皆さまからのご支援を賜りますようお願いいたします。

..... **摂南大学の推進事業の種類**

- キャンパス整備事業
- プロジェクト支援事業
- 奨学金充実事業
- 1. 学生支援プロジェクト
- 学校運営支援事業
- 2. 地域連携支援プロジェクト
- 課外活動支援事業
- 3. Smartキャンパス整備プロジェクト

【募金に関する情報】

<https://www.josho.ac.jp/100th/donations/>



2023年4月開設

現代社会学部

学部設置に合わせて、新校舎の建設もしています。本学が推進するアクティブ・ラーニングを中心とする新しい学びのスタイルに相応した教育環境を備えます。

設置位置 寝屋川キャンパス
(大阪府寝屋川市池田町17番8号)

入学定員 250人(収容定員1000人)

道なき未知へ、挑め。



Smart and Human
摂南大学

現代社会学部 開設記念シンポジウム



**坪田信貴の
学びの動機づけと
人間力偏差値の向上**

予測困難な時代を生き抜く人間像と
高等教育の在り方

**定員
500人**

参加無料
要事前申込

日時 11/19(土) 13:30~16:00(12:45受付開始)

会場 OIT 梅田タワー(大阪工業大学 梅田キャンパス)常翔ホール
大阪市北区茶屋町1-45

MBSラジオ公開録音



**ナジャ・ケロナーラの
レコーダー**

摂南大学現代社会学部開設SP
ナジャじゃジャーナル
これからの時代を担う人材と多様性

詳細・お申し込み方法は以下のサイトをご覧ください。

<https://www.mbs1179.com/setsunan/>



◆「さやけき」とは

「さやけき(清けき)」は、明るい、清々しい、清く澄んでいるなどの意味を表します。大学歌に「学風さやけき摂南の」の詞があるとおり、本学の明るく、若さあふれる清々しいイメージを象徴する言葉です。

◆表紙の人

学生が実践的能力を発揮し、自主的に取り組んでいるさまざまな学生プロジェクトの一つ、GSS(グローバル学生スタッフ)のメンバー。ゲンティアー デューアンさん(経営学科3年・写真左)、北川凌太郎さん(機械工学科2年・写真中央)、チャン トウ ハさん(経営学科2年・写真右)
(本誌P7でも紹介しています)



~ 摂南大学は2025年に創立50周年を迎えます ~

Smart and Human
摂南大学

- 法学部
- 外国語学部
- 国際学部(2022年4月開設)
- 経済学部
- 経営学部(2022年4月改編)
- 理工学部
- 薬学部
- 看護学部
- 農学部(2020年4月開設)
- 大学院
- 現代社会学部(2023年4月開設)

発行日：2022(令和4)年9月30日
発行：摂南大学 学長室 企画課
〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8
U R L : <https://www.setsunan.ac.jp>